

緊急復刊！！100部限定

『アジアかぜ流行史

A2 インフルエンザ流行の記録（1957～1958）』

小島三郎（厚生省伝染病予防調査会会長）

尾村偉久（厚生省公衆衛生局長） 監修

昭和35年 財団法人 日本公衆衛生協会発行 B5版 542頁

この記録は、1957年1月にアジアの一角に端を発した、A2型インフルエンザの流行が、数か月も経たない内に全世界に波及し、わが国においても同年5～7月の第1波、9月から翌春にかけての第2波を合わせて届出患者数675,000人、死亡者5,700名を算した、社会的にも多大な影響を及ぼしたインフルエンザ・パンデミック（いわゆる“アジアかぜ”）に関する資料の集大成です。

当時第一線の研究者によってまとめられた、極めて詳細かつ貴重な記録といえましょう。

今秋から今冬にかけて、わが国における感染者も増える可能性のある、新型インフルエンザ（“豚インフルエンザ”）の流行に向けて、先人の記録をぜひ、復刊してほしいという要望が研究者や行政関係の方から多数寄せられていますので、同書の復刊を企画しました。全く同じ装丁とはまいりませんが、写真資料も含めた全頁を製本いたします。

つきましては、関係各位に本広告をお送りし、予約注文販売をいたします。（100部限定で制作いたします。皆様のお申し込みをお待ちいたします。）

平成21年7月吉日

（財）日本公衆衛生協会 理事長 北川定謙

<頒布の方法>

1冊 4,600円（税別）

下記、当協会担当へ、別添のお申し込み書をファクスにていただきたく存じます。

なお、誠に勝手ながら、2009年8月31日（月）15時をもって、締め切らせていただきます。

FAX 03-3352-4605

(財) 日本公衆衛生協会 書籍担当

『アジアかぜ流行史

A2 インフルエンザ流行の記録 (1957~1958) 』 申込書

申込冊数： _____ 冊

ご所属： _____

お役職： _____

お名前： _____

ご住所： 〒 _____ - _____

ご連絡先 (TEL) : _____ - _____ - _____

※郵送料は、お客様ご負担となりますので、ご了承ください。

※ご請求書のお送り先等が上記と異なる場合は下記にご記入ください。

アジアかぜ流行史

A2インフルエンザ流行の記録

(1957～1958)

1 9 6 0

財団法人 日本公衆衛生協会

監 修

厚生省伝染病予防調査会会長

小 島 三 郎

厚生省公衆衛生局長

尾 村 偉 久

編 集

国立予防衛生研究所

福 見 秀 雄

国立相模原病院

後 藤 敏 夫

国立公衆衛生院

平 山 雄

東京大学伝染病研究所

草 野 信 男

関東通信病院

中 村 兼 次

国立東京第一病院

佐 野 一 郎

陸上自衛隊衛生学校

園 口 忠 男

厚生省公衆衛生局

高 部 益 男

目 次

第1章 流行史の概要

I 事件の発端とその概要	1
II 流行発祥の地と新型ウイルスの誕生	5
III わが国における流行の発生および進行の概要	9
IV 世界の流行の概要	15
1. インド	18
2. オーストラリア	19
3. イスラエル	21
4. トルコ	21
5. アメリカ合衆国	22
6. イギリス	24
7. オランダ	25
8. ポルトガル	27
9. スウェーデン	27
10. ノルウエー	29
11. フィンランド	29
12. スイス	29
13. ユーゴスラビア	29
14. ポーランド	29
15. ソビエト連邦	31
16. 総括	32

第2章 国内流行の推移と対策

I わが国におけるインフルエンザ防疫の歴史	35
1. 流行の歴史	35
2. 対策の概要	37
3. アジアかせ流行直前のA1, B型流行の推移と対策	38

目 次

II	アジアかぜ流行の推移と対策	42
1.	アジアかぜ流行の推移	42
2.	防疫対策の推移	51
1.	第1波（5月～7月）における対策	51
2.	第2波（9月以降）における対策	58
3.	予防接種	62
1.	インフルエンザウイルスワクチンの製造	63
2.	予防接種とワクチンの配布	72
4.	インフルエンザ防疫対策と伝染病予防調査会	76
5.	各省庁等における対策処置	80
6.	国際機関との協力	87
III	アジアかぜを通して見たインフルエンザ防疫	88

第3章 アジアかぜの病原

I	まえがき	97
II	A2型インフルエンザウイルスの生物学的特性	99
1.	ウイルレンス	100
2.	向肺性	107
3.	向神経性	110
4.	赤血球凝集性	111
III	A2型インフルエンザウイルスの抗原構造	112
IV	A2型インフルエンザウイルスの抗体アビデティ の変異	117
V	A2型インフルエンザウイルスの免疫学	138

第4章 アジアかぜの臨床

I	まえがき	147
II	アジアかぜの臨床症状と臨床検査所見	153
1.	一般的な臨床像	153
2.	二、三の主要な症状と経過	156
3.	臨床像の型と臓器症状	159

4. 呼吸器系統	161
1. 一般的な症状	161
2. 特殊な臓器症状	162
5. 神経系統	165
1. 中枢神経系臓器障害の発生機序	165
2. インフルエンザ精神病	166
3. 脳波	167
6. 循環器系統	168
1. 一般的な症状	168
2. 心電図およびベクトル心電図	169
3. 特殊な臓器症状	171
4. 腎炎	171
7. 消化器系統	172
1. 肝障害	172
2. 溶血性黄疸	172
8. 内分泌系統, 特に副腎皮質機能障害	173
9. 皮膚アレルギー	173
10. 臨床検査所見	174
Ⅲ アジアかぜと合併症	181
1. インフルエンザ気管支炎および毛細気管支炎	181
2. インフルエンザ肺炎	182
3. インフルエンザによる脳症状	192
Ⅳ 老人, 妊娠およびその他の疾患とアジアかぜ	197
1. アジアかぜと老人	197
2. アジアかぜと妊娠	198
3. アジアかぜと肺結核	200
4. アジアかぜと心疾患	202
Ⅴ 小児アジアかぜの臨床	204
1. 臨床症状	204
2. 合併症	212
1. 概括	212
2. 気管支炎	213

目 次

3. 悪性喉頭気管気管支炎	214
4. 肺 炎	215
3. インフルエンザに合併した細菌性肺炎の臨床像	216
4. 呼吸不具症 (Respiratory Cripple) とアジアかぜ	218
5. インフルエンザ合併症としての心臓障害	219
6. 中枢神経系の合併症	220
7. 死亡例の観察	221
VI 診断と鑑別診断	224
1. 臨床鑑別診断	225
1. かぜ症候群をおこしうるウイルス群	225
2. その他	226
2. 小児におけるかぜ症候群相互の鑑別	226
3. 実験室鑑別診断	228
1. 細菌検索	228
2. ウイルス分離	228
3. 血清診断	230
VII 治 療	233
1. 一般療法	233
2. 対症療法	235
3. 合併症の治療	236
4. 合併症の予防	236

第5章 アジアかぜの病理解剖

I A2 インフルエンザウイルスが分離された剖検例	239
II ウイルスの分離がなく、インフルエンザが推定された剖検例	240
III 総括考按	243

第6章 アジアかぜの疫学

I ま え が き	251
-----------	-----

II	流行の時間的継起	252
III	罹患率	256
IV	年齢別罹患率および死亡率	261
V	再感染	268
VI	流行の伝播と感染経路	274
VII	学校休校と学級閉鎖	276
VIII	超過死亡と先天奇形	280
	1. 超過死亡	280
	2. 先天奇形	284
XI	流行調査の実例	287
	1. 血清検査の成績	292
	2. 学年別罹患状況	292
	3. 学年別にみたA2抗体陽性率	293
	4. 地域	296
	5. 職業	296
	6. 家族員数	297
	7. 経済状態	297
	8. 血清反応と診断書提出との関係	302
X	総括	304

第7章 アジアかぜワクチン

I	まえがき	307
II	1957年のワクチン接種実験	313
	1. 足立ワクチン	313
	1. 陸上自衛隊	313
	2. 栃木県	330
	3. 埼玉県飯能市	337
	4. 国立東京第一病院	338
	2. K9ワクチン	339
	1. 埼玉県行田高等学校	339
	3. Y5ワクチン	341

目 次

1. 11 の 国立 病院	341
4. 総 括	351
Ⅲ 1958年の接種実験	354
1. 接種後のA 2 抗体測定結果	357
1. 足立株単味ワクチン	357
2. 多価ワクチン	364
2. 接種後のA 1 抗体の測定結果	369
1. 大町株単味ワクチン	369
2. 多価ワクチン	372
3. ワクチンのB 抗体測定結果	376
1. 世田谷株単味ワクチン	376
2. B/グレートレーク/1739/54単味ワクチン	378
3. 小 括	379
4. 多価ワクチン	379
4. 総 括	383
Ⅳ ワクチン論からみた抗体アビデティの問題点	383
1. 実験に供されたウイルス株	386
2. 実験結果	386
1. Y 5 株と足立株との関係	386
2. K 9 株と足立株との関係	388
3. 小 括	390
Ⅴ 感染防御に必要な抗体レベルの考察	391
1. 自然初感染者の回復期のHI 価	392
2. 再感染者の感染前または感染初期のHI 価	392
3. 流行集団中の再感染しなかつたもののHI 価	393
Ⅵ 結 論	396

資 料

I 統 計 表	407
II インフルエンザ情報	435
1. 第1波 第1～15報	435

2. 第2波 第1～10報	442
3. 第3波 第1報	450
Ⅲ インフルエンザウイルスワクチン	452
1. インフルエンザウイルスワクチン基準	452
2. インフルエンザウイルスワクチン基準改正追補	458
Ⅳ インフルエンザ予防接種施行心得	458
V 報道記事の一部	461
文 献	471
欧文文献	481
索 引	531
あとがき	537